



琥珀石 — みとつ —



新宮市立医療センター
院長 中井三量

皆様明けましておめでとうございます。令和四年は常にまし、衝撃的な事件事態が起こりました。ロシアのウクライナ侵攻、安部元首相狙撃殺害事件、全国各地での相次ぐ集中豪雨被害、そして新型コロナウイルス感染症の蔓延・混乱に明け暮れた感がありました。我々の病院でもクラスターが発生し、患者受入制限の事態となりました。未だ病棟患者やスタッフの感染が時々あるものの、ようやく感染激増の山は越え、減少傾向へと向かっているようです。当院スタッフならびに当地域の皆様には感謝申し上げるとともに、引き続いて感染対策、三密回避、ワクチン接種をお願い致します。

こんな中、夏の甲子園での高校野球は初めて東北の地に優勝旗が渡り、プロ野球ヤクルトスワローズ村上選手が3冠王獲得、大リーグ大谷翔平選手の2年連続MVP級の活躍、阪神タイガースの当初の超長期の連敗から復活、クライマックスシリーズ参戦等々、心躍るニュースもありました。ノーベル医学生理学賞にスウェーデン出身で、ドイツにあるマックス・プランク研究所のスバンテ・ペーボ博士が選ばれ、ネアンデルタール人のDNAと現生人類のDNAのゲノム解析により、ネアンデルタール人は現生人類と交雑し、我々の中にネアンデルタール人のDNAが入っていることを証明し、現生人類は世界中で変異はあるが優劣無く、平等であると説いた。これは旧ナチスの選民優性思想を完全否定するもので、ドイツの研究所から出た事に意義があるといわれています。

我々新宮医療センターはHCU（高度急性期病床）開設により、当地域の急性期病院としての体制充実、また救急受入体制充実に向け活動しております。産婦人科医師スタッフ獲得も一旦安定し、産婦人科診療・分娩受入も継続できる事となりました。引き続き、産婦人科を含め各診療科医師派遣・獲得に向け地道な活動を続ける所存です。

ここで考えることは、戦う事と戦争（殺戮）は異なるものであるという事です。戦う事とは、相手があって競い合っているようですが、本当はそうではなく、自らに打ち克つ事や記録を塗り替えることであり、そこにはルールがあり、相手を思いやる事が第1とされます。他方、戦争は、相手のみ打ちのめす事であり、そこにはルールはなく、相手に憎しみを感じ、抱かせるだけです。戦争であっても、その根本的原因は何なのか。それを見つけるためには、戦争で対立する者の一致する上流を探ることから始まると思いますが、どうでしょうか。これは、医師・スタッフ不足問題でも同様に思えます。医師はじめスタッフ不足、獲得困難の原因は何なのか、それは病院サイドと和歌山県・和歌山県立医科大学・地域住民の皆様が考える医療供給体制の困難さが上流にあるかと思えます。そうであっても、医療の目的は、スムーズに治療が受けられ、自宅や介護施設で安心・安楽に一生を終えられる様にすることです。そこに向け各機関が力を合わせ、上流は何なのかを共に考えながら、地域医療に力を尽くしたいと存じます。本年も皆様のご多幸を祈念致します。

医療センターからの お知らせ

内科、循環器内科、呼吸器外科及び眼科（火曜日のみ）の受診には、医療機関からの紹介状が必要です。腎臓内科、脳神経内科及び皮膚科（火曜日のみ）の受診には、地域医療連携室を介した紹介予約制です。

救急の場合は、この限りではありません。直接、救急外来に電話で相談してください。

—基本理念—

私たちは、すべての患者さんの安全と権利を守り、良質な医療環境のもとに、安心して適切な医療が受けられる病院をめざします。

—基本方針—

1. 患者さんと職員の安全確保
2. わかりやすい説明の工夫と守秘義務の順守
3. 医療の質の向上、チーム医療の充実、全人的医療人の育成
4. 地域医療の連携強化
5. 自治体病院としての公共性を追及

診療科紹介

循環器内科

循環器内科は4人のメンバー（猪野・片山・寺田(2022年10月に赴任)・高木)で心臓血管疾患の診療にあたっています。急性心筋梗塞に対する24時間365日体制での緊急カテーテル治療をはじめとして、循環器疾患ほとんどの救急対応が可能です。さらに和歌山県内でも数少ない心臓血管外科手術が可能な施設であり、循環器関連の内科医、外科医およびコメディカルからなるハートチームとして最適な治療方針を考えることができます。



具体的な診療体制についてですが、心臓血管疾患領域におけるカテーテル検査や電気生理学検査などの侵襲的検査だけでなく、超音波、コンピュータ断層撮影(CT)、磁気共鳴画像(MRI)、心筋シンチなどの非侵襲的な画像診断にも力を入れています。

また、急性心筋梗塞や狭心症に対するカテーテルインターベンション治療(PCI)、徐脈性不整脈に対するペースメーカー植え込み術、致死的不整脈に対する除細動器植え込み術、重症心不全に対する両心室ペースティング植え込み術、および下肢の閉塞性動脈硬化症に対するカテーテル治療などの侵襲的治療を行っています。

さらに高齢化とともに増加の一途を辿る心不全患者さんに対する心不全リハビリにも力を入れており、再入院予防に努めています。2020年9月に心臓リハビリの新システムが導入され、外来心臓リハビリ症例の増加にも対応可能になり、さらに今後は心肺運動負荷試験機器が導入予定です。

さらに高齢化とともに増加の一途を辿る心不全患者さんに対する心不全リハビリにも力を入れており、再入院予防に努めています。2020年9月に心臓リハビリの新システムが導入され、外来心臓リハビリ症例の増加にも対応可能になり、さらに今後は心肺運動負荷試験機器が導入予定です。

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
冠動脈CT	139	133	147	158	171	181	172
冠動脈造影検査	464	444	440	432	347	311	334
PCI	152	178	187	186	145	156	204
うち緊急PCI	59	70	73	80	62	84	88
EVT	52	44	40	35	31	26	40
永久PM植え込み術(新規)	33	36	44	31	27	21	30
永久PM植え込み術(交換)	12	8	12	7	11	15	27
ICD植え込み術(新規)	4	3	2	6	3	2	1
CRT-D植え込み術(新規)	3	1	2	1	2	0	4

【施設認定】

日本内科学会認定医制度教育関連病院

日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

日本心血管インターベンション治療学会研修施設(2020年11月認可；和歌山県内では和歌山県立医大、和歌山日赤病院に次いで3施設目)

冠動脈ロータブレーター実施施設(2021年1月認可)

浅大腿動脈ステントグラフト留置術実施施設(2020年1月認可)

日本心臓リハビリテーション学会認定施設

植え込み型除細動器(ICD) / ペーシングによる心不全治療(CRT) 実施施設

令和4年度 災害実働訓練

令和4年11月3日に災害実働訓練を実施し、職員約50名が参加しました。

当院は地域災害拠点病院に指定されており、災害時には地域の中核となって対応することが求められています。コロナ禍のため以前より規模を縮小していますが、災害時に速やかに対応できるようにするとともに、職員の防災意識の高揚を図るため、このような訓練を毎年実施しております。

今回の訓練では、新宮市で震度6強の地震発生を想定し、多数の傷病者に対



応するため、災害対策本部、治療の優先順位を決定するトリアージエリア、診療エリアなどを設置し、仮想患者で診察から検査・処置・入院など一連の流れを確認しました。訓練終了後には全体反省会を行いました。

そこで出た新たな課題を踏まえて災害対策を進め、今後も災害に強い安心安全な病院作りに努めてまいります。

職場ウォッチング

【薬剤部】

新宮市立医療センター薬剤部は、薬剤師7名、助手3名、薬品管理担当者1名の合計11名で構成されています。

調剤、病棟での活動、がん薬物治療、お薬の管理、お薬情報の管理など病院の医薬品全般の管理を行っています。

<調剤>

医師の処方に基づき調剤します。お薬の飲み合わせや量に問題はないか確認したり、お薬を飲み間違えないよう一回分ずつ袋に入れたり、患者さんに合わせた服薬方法を提案したりします。

また、注射薬についても組み合わせに問題がないか、量や投与方法などが適切か、細かくチェックして病棟や外来に届けています。

<病棟での活動>

入院患者さんにお薬の効果や必要性、飲み方、注意が必要な症状、生活上の注意などお薬説明書を使って服薬指導を行います。患者さんのお話を聞きながら、医師・看護師と情報を共有して安全に、正しく服薬できるよう調整しています。

また、入院時に患者さんが持参されたお薬は一旦お預かりし、お薬の内容や使用法を確認しています。

<がん薬物療法>

抗がん剤の点滴は無菌調剤室で薬剤師が調剤します。また、点滴抗がん剤の治療を始める際は、入院・外来全ての患者さんに安心して治療を受けてもらえるよう詳細に説明しています。お薬について質問や不安がある時は、薬剤師にご相談ください。

<お薬の管理>

お薬の仕入れや在庫を管理します。データを使って品質や使用期限を管理し安全で効率の良い管理を行っています。

<医薬品情報室>

お薬の情報を集めて整理し、様々な問い合わせに対応します。また一部の抗菌薬について医師と連携して投与量や方法を検討するなど、副作用を防ぎながらより有効にお薬を使用できるように取り組んでいます。

<院内との連携>

様々な職種からなる委員会に薬剤師も積極的に参加し、より良い医療が提供できるよう他職種と連携しています。



登録医のご紹介

真砂小児科

📍 新宮市丹鶴2丁目4-13
☎ 0735-29-7313



丹鶴城公園の麓で小児科医院を開業しております。

また、安心して受診できる小児科をめざしております。

新宮市立医療センター様との連携を密にとり、微力ではありますが、紀南地方の小児医療に貢献できるよう努めてまいります。

くろしお耳鼻咽喉科

📍 新宮市三輪崎 1956-10
☎ 0735-22-3387



分かりやすい説明と丁寧な治療を心掛け、親しみやすい、地域の皆様に必要とされるクリニックを目指しています。

耳・鼻・のど・めまいなどの症状があればお気軽に相談してください。

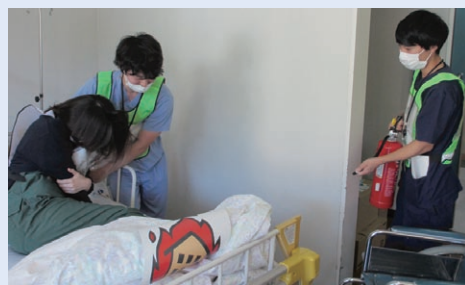
令和4年度 自衛消防実働訓練

ここ2年間はコロナ禍で自粛していましたが、令和4年10月26日に自衛消防実働訓練を3年ぶりに実施しました。

今回は、コロナの感染状況に左右されない方法で、実働訓練の経験がない入職3年以下の職員を対象としました。

訓練内容は、夜間に枕灯から出火した想定で火災の覚知→通報→初期消火→避難誘導といった流れを、各リーダーを中心に確認しました。その後、消火器、消火栓の取り扱いや使用方法を実際に体験しました。また、災害対策委員会で作成されたアクションカード（火災用）の実用化に向けての検証を行いました。

今後も定期的な訓練の実施を行い、より災害に強いシステムを築き、安心して安全な病院を作れるよう精進してまいります。



令和4年度 7月～11月 研修会



研修報告

<7月>

「嚥下障害のある人への食事介助～誤嚥性肺炎を防ぐために～」Web 配信

講師：速水 恵 看護副師長

誤嚥性肺炎を防ぐ視点から、口腔ケアの大切さ、食事の姿勢の取り方や介助の仕方についてのお話をいただきました。

たくさんの看護職・介護職の方が視聴され、興味関心の高さがうかがえました。

<8月>

「胃ろうの観察とスキンケア」

Web 配信

講師：宇恵 由紀 看護師

在宅や施設での胃ろうの管理について、当院の胃ろうケアを担当している看護師からのお話でした。

病院・施設・在宅、どこでも安全で適切なケアができるようこれからも一緒に学習していきたいと考えています。

<11月>

「透析患者さんの日常生活管理」

Web 配信

講師：並木 ルミ子 看護副師長

透析患者さんの日常生活管理をテーマにした研修会の企画は初めてで、視聴された方から「勉強の機会が持てて良かった」と好評でした。

これからも色々なテーマを取り上げていきたいと考えています。

◆ 新任医師の紹介 ◆

産婦人科 部長
たけなか まさたか
竹中 将貴



新宮の産婦人科医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

循環器内科 医長
てらた こうせい
寺田 幸誠



内科疾患をはじめとして、心臓疾患なら任せてください。

退任医師の報告

氏名	診療科・役職
拝野 貴之	産婦人科部長
谷本 貴志	循環器内科医員

退任日 令和4年9月30日



編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年の干支は兔ですね。兔といえば東くめさん作詞の「かちかち山」。老夫婦にいじわるした狸を、老夫婦と仲の良かった兔が成敗するというお話です。イソップ物語の「兔と亀」では怠け者の兔でしたが、「かちかち山」の兔のように、思いやりがあって頭の切れる兔になりたいです。

杏奈